

授業科目名・形態	社会調査論	講義	必修・選択の別	選択
担当者氏名	中里 操・林 宏二	開講期	2年 前期	単位数 2

【授業の主題】

社会調査の意義と目的及び方法の概要について学習する。また、統計法の概要、社会調査における倫理や個人情報保護や、量的調査の方法及び質的調査の方法について理解することを目的とする。

【到達目標】

社会調査がどのようなものであるかを理解する。統計法の概要、社会調査における倫理や、個人情報の保護について理解する

実際に初歩的な社会調査の企画、実施ができ、専門的な調査報告書を読み込めることを到達目標とする。

【授業計画・内容】

- 第 1回 オリエンテーション(中里・林)
- 第 2回 社会調査の意義と目的(社会調査の意義と目的、対象) (中里)
- 第 3回 統計法(統計法の概要) と社会調査における倫理(中里)
- 第 4回 社会調査における個人情報保護(中里)
- 第 5回 量的調査の方法①(全数調査と標本調査／母集団／標本／標本抽出／その他) (中里)
- 第 6回 量的調査の方法②(横断調査と縦断調査) (中里)
- 第 7回 量的調査の方法③(自計式調査と他計式調査) (中里)
- 第 8回 量的調査の方法④(測定／測定の水準／測定の信頼性と妥当性／その他) (中里)
- 第 9回 量的調査の方法⑤ (質問紙の作成方法と留意点／ダブルバーレル質問／パーソナルな質問とインパーソナルな質問／その他) (林)
- 第10回 量的調査の方法⑥ (調査票の配布と回収／訪問面接調査／郵送調査／留め置き調査／その他)(林)
- 第11回 量的調査の方法⑦ (量的調査の集計と分析／コーディング／単純集計と記述統計／質的データの関連性／量的データの関連性／その他) (林)
- 第12回 質的調査の方法①(観察法と面接法) (林)
- 第13回 質的調査の方法② (質的調査における記録の方法と留意点) (林)
- 第14回 質的調査の方法③(質的調査のデータの整理と分析) (林)
- 第15回 社会調査の実施にあたってのITの活用方法(林)

【授業実施方法】

基本的には講義形式で行う。また、必要に応じてレポート(1200字以上1600字以内)を課す。

【授業準備】

事前に指定した教科書の予習、授業後に教科書とレジュメを使って復習すること。

【主な関連する科目】

地域福祉論、福祉行財政と福祉計画 等

【教科書等】

新・社会福祉士養成講座 『社会調査の基礎 <第3版>』 中央法規出版

【参考文献】

随時、必要により提示する。

【成績評価方法】

授業への取り組み姿勢10%、提出レポート 30%、期末試験の成績60%の総合評価とする。

【学生へのメッセージ】

履修者は、新聞記事や各種調査の結果等を通じて、今私たちの生きている社会がどのような社会なのか、そこにどのような変化が生じているのかについて関心を払う習慣をつけて下さい。